

① 藤沢市政再起動を実現する会 国松誠

意見広告 藤沢のまちづくり「設計図」が必要です

藤沢にはない「総合計画」、今こそ作るべき

地方自治体の将来像を 市民とともにまちづくり描き、様々な事業の方向を進めること、また効率性を示す総合計画は現率、効果を考えた施設整備、藤沢市にはありません。2011年、法定義いと考えます。

務から外れたことに伴 事実、高度経済成長をい、廃止してしまっ 支え、長年、政治・行政含む社会経済システムの 改革を進めてきた（公



■経歴 1961年生まれ
神奈川県立藤沢西高卒
明治大学法学部卒
衆議院議員 藤井裕久秘書
藤沢市議会議員
藤沢市議会議員、全国市議会議長会会長
神奈川県議会議員4期務める

☎0466-31-3555

✉ kunimatsu-makoto@outlook.jp
http://kunimatsu-makoto.com

ていないと感じました。て小中学校をはじめ国県
これが、市民とともにま 市の公共機関の建て替え
ちづくりを進めていると も次々とやってきます。

言えるのでしょうか。 これらは、将来的な人

長期的な施策に 口動態や市民ニーズを勘

重要な役割 案しながら進めなければ

法政大学の中嶋先生の ならず、自治体の将来を
論文で、藤沢市では、都 見すえた羅針盤ともいう
市の骨格や地区の位置づ べき総合計画を策定し方
けなどをはじめハードを 向性を定めなければなら
中心とする重要な施策は ないと考えます。

政権交代があっても総合 その上で、公共施設で
計画で引き継がれてきて あれば国県市と合築も視
いるとされています。長 野に入れ、効率的、効果

期的な施策において総合 的、かつ節税までを考え
計画が大きな役割を担っ たファシリテイマネジメ
ているということです。 ントをするなど各々の施

藤沢市には、相鉄いず 策のベクトルが合わせら
みの線の延伸や藤沢駅周 れるのです。

辺の再整備など長期的で 皆さんとともにつくる
重要なまちづくり施策が まちづくりには「総合計
いくつもあります。加え 画」が必要です。